

臨床心理士資格取得について（臨床心理学専攻）

臨床心理士は、教育、福祉、医療、犯罪・矯正、産業、研究所・相談室の開業、大学などで、心理臨床やカウンセリングに従事することができます。財団法人日本臨床士資格認定協会「臨床心理士」の受験資格を希望する者は、本学のカリキュラムの中から、別表のとおり協会が指定する次のような科目を履修し、単位を修得しなければなりません。

〔協会の規程（第4条第4項、第6条）〕

必修科目 5科目 16単位

臨床心理学特論	4単位
臨床心理面接特論	4単位
臨床心理査定演習	4単位
臨床心理基礎実習	2単位
臨床心理実習	2単位

選択必修科目群（A, B, C, D, E）からそれぞれ2単位以上、計10単位以上

A群 心理学研究法特論、心理統計法特論、臨床心理学研究法特論

B群 人格心理学特論、発達心理学特論、学習心理学特論
認知心理学特論、比較行動学特論、教育心理学特論

C群 社会心理学特論、人間関係学特論、社会病理学特論
家族心理学特論、犯罪心理学特論、臨床心理関連行政論

D群 精神医学特論、心身医学特論、神経生理学特論
老年心理学特論、障害者（児）心理学特論、精神薬理学特論

E群 投映法特論、心理療法特論、学校臨床心理学特論
グループ・アプローチ特論、臨床心理地域援助特論

合計 26単位以上

修士論文のテーマと内容が臨床心理学に関するものであること。